

科目区分	専門分野	履修学年	1 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	生活を整える技術 I (環境、活動・休息)		担当教員	専任教員			
使用テキスト	1) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 I 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 II						
テキスト以外の教材・参考書等	1) インターメディカ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>看護の主要概念の一つである「環境」は基本的欲求に影響を及ぼし健康状態を変化させる。活動・休息の援助を行う上でも環境を整えることは重要である。活動するためには十分な睡眠と休息が必要になる。また、活動・休息は生理的欲求の一つである。活動・休息のニーズを満たす看護は対象の健康回復にも重要な役割をもつ。看護の基本となる技術で学んだ、安全・安楽な技術と合わせながら、講義することで、安全な療養環境、対象の自立やボディメカニクスを活用した方法について理解できるようにする。環境、活動・休息の日常生活行動を整えるための基本的知識と技術が取得できるようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境を整える意義を理解できる。 2. 療養生活に適した環境と療養環境調整の目的と方法について理解できる。 3. 快適な療養環境調整するための基本的技術を習得できる。 4. 活動・休息の意義について理解できる。 5. 活動・休息のメカニズムと身体に与える影響について理解できる。 6. 活動・休息の援助方法について理解できる。 7. 活動・休息の基本的援助技術を習得できる。 							
評価方法	筆記試験 実技試験 演習参加状況、レポート						
備考	ベッドメイキング、環境整備、臥床患者のシーツ交換、 体位変換、床上移動、移動・移送 (車いす・ストレッチャー) の援助計画を事前に記載し、演習時に持参する。 課外の時間を利用し、実技試験項目の練習が必要になる。 関連科目：生活科学, 自然科学 (物理学), 解剖生理学, 看護学概論, 看護の基本となる技術						

回数	授業計画 学習内容	備考
1 2	環境の意義 病室の環境と病床の整備 病床環境のアセスメント	講義
2 4	病床環境を整える援助 環境整備	講義
3 6	ベッドメイキング	演習
4 8		
5 10	臥床患者のシーツ交換	講義
6 12	臥床患者のシーツ交換	演習
7 14		
8 16	活動・運動を支援する技術 活動・運動の意義 生理的メカニズムとアセスメント	講義
9 18	活動・運動を支援する技術 活動・運動の意義 生理的メカニズムとアセスメント	講義
10 20	活動・運動を支援する援助 移動・移送（車いす・ストレッチャー）	演習
11 22		
12 24	休息・睡眠を促す技術 睡眠・休息の意義 生理的メカニズムとアセスメント	講義
13 26	睡眠と休息アセスメント	講義
14 28	技術試験オリエンテーション 技術記録用紙の書き方について	
15 30	終講試験 まとめ解説	